

6 その他

【6-1】緑化センター月別利用者数(令和元年度末)

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	210	2,113	149	493	154	281	442	181	34	0	0	59	4,116

※開所(昭和58.4.1)からの累計 209,976人

資料:特定非営利活動法人 緑の相談室

担当:森林整備課

【6-2】普及職員配置状況

(単位:人)

年度	林業普及指導員					合計
	本庁	林業技術センター	計	普及区	計	
平成 26	0	3	3	36	36	39
27	0	3	3	36	36	39
28	0	3	3	36	36	39
29	0	3	3	36	36	39
30	0	3	3	36	36	39
令和元	0	3	3	36	36	39

担当:林業技術センター

(付表)林業普及指導員の普及区別配置状況

(単位:人)

年度 普及区	平成 26	27	28	29	30	令和元
盛岡	4	4	4	4	4	4
県南	15	15	15	15	15	15
本局	4	4	4	4	4	4
花巻	4	4	4	4	4	4
遠野	3	3	3	3	3	3
一関	4	4	4	4	4	4
沿岸	11	11	11	11	11	11
本局	2	2	2	2	2	2
宮古	4	4	4	4	4	4
岩泉	2	2	2	2	2	2
大船渡	3	3	3	3	3	3
県北	6	6	6	6	6	6
本局	3	3	3	3	3	3
二戸	3	3	3	3	3	3
計	36	36	36	36	36	36

担当:林業技術センター

【6-3】普及指導職員研修実施状況(令和元年度)

(ア) 国等を行う中央研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 一般研修	4人	5～9日	森林技術総合研修所
2 林業機械研修	—	—	森林技術総合研修所 林業機械化センター
3 普及指導職員シンポジウム			
(1) 全国	3人	2日	東京都
(2) 東北・北海道ブロック	2人	2日	札幌市ほか

(イ) 県が実施した研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 現地普及定着研修 森林保護技術ほか	96人	1日	矢巾町ほか
2 その他の研修 資質向上研修	19人	1日	矢巾町ほか
3 全体研修	38人	2日	盛岡市

担当：林業技術センター

【6-4】緑の少年団の推移

(単位: 団数: 団、団員数: 人)

区分 \ 年度	平成 27	28	29	30	令和 元
団 数	106	105	103	103	103
団 員 数	3,643	3,685	3,650	3,640	4,033

担当: 森林整備課

【6-5】林業研究グループ等の推移

(単位:グループ数:グループ、会員数:人)

区 分		年 度					
		平成 27	28	29	30	令和元	
林業研究グループ	グループ数	23	19	17	16	16	
	会員数	男	301	281	247	247	247
		女	69	57	49	43	43
		計	370	338	296	290	290

注:平成24年度以降は岩手県林業研究グループ連絡協議会会員のみ記載

担当:林業技術センター

【6-6】研究課題（令和元年度実施）

事業名、研究課題名（予算区分）

- 1 優良品種開発促進事業（県単）
 - (1) マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発
 - (2) スギ花粉等多様な形質の家系評価と検定技術の開発
- 2 燃料用木材利用技術開発事業（県単）
 - (1) 燃料用木材の利用技術の開発
- 3 防潮林再生緊急調査事業（県単）
 - (1) 防潮林再生緊急調査事業
- 4 農林水産技術会議委託プロジェクト研究（国庫受託）
 - (1) 林地環境改善によるシロ活性化技術開発
- 5 林業普及指導事業（林業普及情報活動システム化）
 - (1) 広葉樹被害の実態把握と防除技術の開発
 - (2) 効率的なウルシ実生苗木の安定生産技術の開発
- 6 試験研究（県単）
 - (1) 原木シイタケ安全安心栽培技術の開発
 - (2) 原木シイタケの高収益栽培技術の開発
 - (3) カラマツ優良種苗の安定生産に向けた技術体系化
 - (4) 簡易感染診断技術を活用したマツタケ林地導入技術の開発
 - (5) アミガサタケ菌糸培養技術の開発
 - (6) 天然更新を活用した針葉樹伐採跡地における森林更新技術の開発
 - (7) 針葉樹大径材の利用拡大を目指した板・挽き割の効率的な生産技術の開発

担当：林業技術センター